みなさん は もう自分 の みち を 見つけましたか。 きよう わたし は しょらい の ために 自分 の みち を 見つける こと に ついて 話します。

わたし は こうこう二年生 です。学校 で は テスト が たくさん あります。 さいきん テスト や 勉強が うまく いかなくて なやん で いました。 そして、 学校 が きらい に なりました。しょらい が ふあんに なって、 たくさん なきました。

わたし は ここで あきらめますか。いいえ あきらめません。その とき おじさん の ことば を 思いだしました。わたし の おじさん は engineering を 勉強しました が、せいこうしません でした。それで engineering は 自分の ただしい みち じゃない。と わかりました。そして、おじさん は わたしに 言いました。＂ぼくは もっと はやく 自分 の みち を みつけたかった。 あなたは はやく 自分 の みちを 見つけなさい。わたしは もういちど かんがえました。わたし は 物理 が にがて です。でも、だから わたしは しっぱい する、 と いういみ じゃありません。物理 は わたしの ただし みち じゃ ありません 、といういみ です。じゃあ、わたしの みち は何ですか？ わたし は 生物 が とくい です。です から 生物 を もっと がんばろう と 思いました。 しょうらい の しごと に やくに たつ と 思います。とくいな ことを がんばれば、 きっと せいこうします。 それが わたしの ただしい みちだ と 思います。

さいご に Einestein の ことば を みなさん に おくります。 “みんな が てんさい になれます。たとえば、 さかな は およぐ こと の てんさい です。でも 木 に のぼる こと の てんさい じゃ ありません” つまり 自分 が てんさい に なれる こと を 見つけて ください。それが あなたの ただしい みち です。